

令和5年度施政方針について

本日ここに、令和5年第1回北名古屋市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様のご参集を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、市議会開会にあたり、令和5年度の施政方針を明らかにする機会をいただきましたことに対しまして、正副議長をはじめ議員各位に改めて感謝の意を申し上げます。

昨年4月に市民の皆様からの信託をいただき、北名古屋市長の任に当たり、間もなく1年が経とうとしています。この1年、市政運営の基盤である財政状況を改善すべく、行財政改革に特に注力して取り組んでまいりました。

これまで本市は、合併に伴う財政上の優遇措置を活用して、市民サービスの充実に取り組んできましたが、扶助費の増加傾向が続く一方で、公共施設の統廃合や更新は十分に進まず、経常的な支出の割合が高まる中、今後は老朽化した公共施設の改修やインフラの整備とのバランスも図りつつ、新たな政策展開を行わなければなりません。また、ウィズコロナへの移行が進みつつある一方で、物価高騰が家計、事業者に与える影響も大きく、引き続き市民生活の下支えが求められています。

こうした市政運営を取り巻く状況の中で、行財政改革を進めていくことは、非常に難しい課題であると認識しておりますが、行財政改革を成功に導くためには、議員の皆様を始め、多くの市民の皆様のご理解とご協力なくしては、決して実現できないと考えております。

昨年は市民の皆様と問題意識を共有するため、市民説明会を開催し、市の現状と課題を市民の皆様には詳らかにしてお伝えしました。その際、事前質問やアンケートを通して市民の皆様から様々なご意見をいただき、全て拝読させていただきましたが、一枚一枚に市民一人

ひとりの想い、願い、希望が詰まったものでした。

皆様からの声に真摯に耳を傾け、説明責任を果たしてゆく、市政運営の基本ではありますが、私はこれを形にするため、昨年12月に「北名古屋市行財政改革実行プラン～新しい北名古屋市の実現に向けて～」を策定し、行財政改革という難題に、市民の皆様とともに取り組んでいく決意をお示ししたところであります。

こうした中で編成した今回の令和5年度当初予算は、プランを実行に移していく、まさに第一歩目となる予算であります。

令和5年度当初予算編成にあたっては、増大する財政需要によって財政の硬直化が一層進む中、原油価格・物価高騰に伴う光熱水費の大幅な増加が見込まれるなど、大変厳しい財政状況が続いております。

従って、慢性的に財政調整基金に依存せざるを得ない財政構造から一気に脱却することはかないませんが、強固な行財政基盤の確立を目指し、私自身を始め三役自ら身を切り、その決意を示しつつ、実行プランに基づく改革を着実に前進させる予算編成といたしました。

それでは、令和5年度予算の概要について申し述べさせていただきます。

はじめに、行財政改革の断行であります。

行財政改革実行プランでは、今後市が取り組む行財政改革の方向性を大きく三つに整理しております。

一つ目の「公共施設の適正化」に向けた取組として、本議会に関連条例案を提出しておりますが、ジャンボプールの使用料について、老朽化の進行による維持管理費の増加に対応するため、受益者負担の適正化の観点から、改定を行います。

また、保育園等配置計画の策定業務に着手し、公立保育園のあり方を検討する中で、鹿田北保育園の方向性を決定してまいります。

更には、行財政改革実行プランの優先改革項目の取組にとどまらず、西春中学校のプール解体工事や師勝南小学校プール用地売却に着手するとともに、公共施設の照明を LED 化し、ランニングコストの削減に取り組むなど、公共施設の適正化を推進します。

二つ目の「市民サービスの見直し」に向けた取組として、こちらでも本議会に関連条例案を提出しておりますが、健康サポートジムを廃止し、新たに生活習慣病予防として、インストラクターによる運動習慣のきっかけづくりとなる支援を行います。

また、高齢者インフルエンザワクチンに係る自己負担額を引き上げ、対象者が増加する中であっても、制度を持続的に維持してまいります。

更には、市役所の DX 推進に向けて、ノーコード電子申請ツールの導入により行政手続きのオンライン化を推進するとともに、キャッシュレス決済対応型公共施設予約システムを導入し、非対面・非接触による公共施設使用料の支払い手段の拡充を図ってまいります。

三つ目の「財政規律の確保」に向けては、減債基金の計画的な活用による公債費負担の平準化とともに、森林環境整備基金を創設し、森林環境譲与税を計画的に活用し、更には基金の積立・運用のルールをホームページで公表し見える化を行い、財政規律の確保に努めてまいります。

行財政改革実行プランという名称のとおり、プランは実行することが重要であります。そのためにも、市民の皆様を理解を得ながら議論を深めるため、昨年引き続きプランの進捗状況に関する市民説明会を開催し、しっかりと市民の皆様と対話しながら、また、議員の皆様とも議論させていただきながら、改革を着実に前進させていく所存であります。

次に、行財政改革以外の主要な取組についてであります。

行財政改革実行プランにより、強固な行財政基盤の確立を目指し

つつ、市民の安全・安心な暮らしや福祉の向上、更には将来のまちづくりを見据えた必要な投資も含め、メリハリのある予算を編成したところであります。

北名古屋市のめざすまちの姿である「健康快適都市」の実現に向けた第2次北名古屋市総合計画の分野別まちづくり方針に基づく各種事業に、私が掲げたマニフェスト関連事業を含め第2次実施計画の計画期間内に優先的に取り組む事業を「重点プロジェクト」と位置付け、行財政改革実行プランと両輪で推進しているところであります。

重点プロジェクトに関連する令和5年度の主な取組としましては、はじめに「子ども・子育て支援の充実」として、新生児の中でも、他の先天性疾患に比べて頻度が高いとされる先天性難聴を早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な医療や療育を受けることができるようにするため、「新生児聴覚検査」1回分の助成を行います。

次に、「障害者が日常生活で活躍できる支援」としましては、障害者の重度化・高齢化を見据え、居住支援のための機能を整備し、障害者の生活を地域全体で支える体制整備を行う「地域生活支援拠点」を北名古屋市・清須市・豊山町と連携し圏域で設置します。

また、障害者やその家族の最初の相談窓口として、地域の障害福祉に関する相談支援の中核的な役割を担う機関で、相談者に必要な支援等の情報提供や助言を行う「基幹相談支援センター」の開設に着手します。

次に、「防災基盤の強化」として、現在使用しているアナログの防災行政無線機器の老朽化に伴い、災害に関する情報等を迅速かつ多様な情報伝達ツールで伝えることができるようにするため、防災行政無線デジタル化整備工事の実施設計を行います。

次に、「沖村西部土地区画整理事業と企業誘致」については、土地区画整理事業による適切な公共施設の整備・改善を推進し、産業集積に向けた開発を促進するため、引き続き企業の誘致に取り組んでまいります。

最後に、「デジタル技術を活用した市民サービスの向上」として、児童生徒に配備したタブレット端末に、AI機能を搭載したデジタルドリルを導入し、放課後子ども教室での活用をはじめ、一人ひとりが自らの習熟度に合わせた学習に取り組むことができる環境づくりを進めてまいります。

更には、重点プロジェクトに関連する取組以外の取組としまして、市民の安心・安全の確保に向けた基盤整備として、春日井稲沢線の高田寺北交差点を起点とする高田寺久地野線の未整備区間について改良工事を行い、安全性・快適性・利便性に優れた交通機能の強化、災害時に備えた防災機能の向上を図ります。

また、生活道路や通学路の安全対策が求められている中、通学路の安全確保に向けた対策として、通学路のカラー化等のソフト対策に加え、ハード対策として用排水路の改修による歩道整備を行うことにより、児童の安心・安全な歩行空間を形成してまいります。

以上、令和5年度当初予算の主な内容について申し上げましたが、本定例会に出させていただきます令和5年度の当初予算の総額は一般会計で296億3千万円、特別会計は5会計合計で151億7,100万円、企業会計は38億3,795万3千円、合わせて、486億3,895万3千円となります。

このうち、一般会計の予算規模は、令和4年度当初予算に対して4.0%増で、過去最大の予算規模となり、全会計合計も過去最大の予算規模となっております。

結びに、私の市政運営のモットーは、「ともに進める、新しい北名古屋市へ」であり、そのためには、徹底した行政の透明性の確保、説明責任の充実、インクルージョン（市民参加型）の三つの視点が最も重要であると考えております。

こうした考え方に立ち、昨年の秋に開催しました市民説明会を下に新年度は、市民の皆様により具体的な取組み方を説明し、皆様と

多様化する価値観を共有できる対話集会を開催してまいりたいと考えております。

現在の行財政改革実行プランの優先改革項目だけでは、本市の持続可能な財政運営は非常に厳しく、市民の皆様の声を聞きながら更なる改革項目を追加し、取り組んでいきたいと考えておりますので、議員の皆様方からも、是非とも建設的なご提案を頂きたいと思っております。

こうした取組の先にある「新しい北名古屋市」を目指して、全力で市政運営に臨む所存でありますので、議員各位をはじめ市民の皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、令和5年度の私からの施政方針といたします。